

ほのぼの苑だより

題字：鈴木 トキエ 様



潟上市立昭和東保育園の豆まきに参加しました

書き初め

一月二十八日、誕生会を行いました。一月ということで、今回はご家族の方と一緒に書き初めをしていただきました。「私こういうの書けないもの」と仰った入苑者の方もいましたが、書いてみると皆さんとても上手に書いて下さいました。「達筆ですね」というと「そんなことないよ」と照れた様子で答えて下さいました。ご家族の方と一緒に過ごしていただいた時間の中で見せてくれた笑顔、それを普段見せてくれるよう、今後も頑張っていきたいと思えます。

(三浦 正樹 記)



ほのぼの節分



「鬼は外！福は内！」年男を迎える金田介護職員、菅原事務長との力強い掛け声で、毎年の恒例行事となった豆まきが、当苑食堂で行われました。始まると同時に、手にしたマメで思い切り鬼を追い払ったり、鬼に手を合わせたり、豆を食べたりしながら思い思いに楽しまれていました。豆まきは邪気や災厄を祓い、福を呼び込む行事ですが、行事を通じて入苑者の皆さんの笑顔が一番嬉しく思えました。また今年一年健康で楽しく過ごされることを願っております。

(泉 覚 記)

ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話をご紹介します。
するコーナーです。

ちよつとイイ話

〜一月の業務日誌より〜

一月七日(日)

入苑者の方のリネン交換を行っている
と「自分の使ったシート、たたむよ」と話
され、時間をかけて畳んで下さいました。
リハビリが休みだった為、手が鈍ってしま
うからだそうです。リハビリをしてどんど
ん良くなるのは皆さんが努力しているか
らだと改めて実感しました。



一月二十三日(火)

最近入苑された方が元気なく少し心配し
ておりました。毎日声かけをしていたので
すが、今日笑顔を見せて下さいました。発
語も少なかったのですが、自分の名前を言
ってくれました。とても嬉しくこれからも
もっと会話を楽しんで元気になってくれ
るように頑張りたいと思います。

一月二十四日(水)

今日退苑された入苑者の方が帰り際に
ぎゅつと私の手を握って下さいました。そ
の手と表情から、いろんな想いが伝わって
きたような気がします。これからも思いや
りの気持ちを忘れず、この仕事をしてい
こうと思えました。



一月十五日(月)

先日、あるテレビ番組で納豆で痩せると
いう特集をやっていました。ある入苑者の
ご家族の方が面会に来ており、あの番組の
効果でスーパーに納豆が売っていないと
話しており、「母さん昔納豆作ってたべ、
作り方教えてけれ」と楽しそうに話してい
ました。その入苑者の方は失語があり、言
葉を話すことが出来ないのですが、身振り
手振りで一生涯懸命教えていました。



一月三十一日(水)

今日ある入苑者の方が、ある通苑者の方
を見て「あ、あの人・・・知ってる」と驚
いた様子で話されていました。知っている
方を久しぶりに見かけることで、少しでも
刺激になると思います。普段、居室に引き
籠もりがちの入苑者の方をもっと散歩な
どに誘ってみるなどして、刺激を与えるこ
とができればいいのかなと思えました。



第十回 家族会 議事録

第十回 家族会は、平成十九年一月二十一日(日)午後二時より、食堂にて行われました。ほのぼの苑だよりの誌面にて、質疑応答等に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。

三月の家族会は、三月二十五日 午後二時から四月の家族会は四月二十九日 午後二時より行います。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加頂けるようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆質疑応答◆

Q 家族会の参加者を増やすために、具体的にどのような対策、話し合いを行つていくか教えてください。

A 利用料支払い時に合わせた開催、掲示物を増やす、声かけを行うなどを行つていますが、現状、参加者は増えていない状況を説明。今後、家族会の内容を詳細に告知し、声かけ等を継続する、また今後も検討を続ける旨を伝える。

Q 議事録に「検討する」と記載されている案件について、具体的に検討結果を知りたい。

A 再度、議事録を見直し、検討結果を文書、または口頭でご家族に伝えます。

◆ご意見◆

- ・ 形式的ではなく、もっと砕けた形での家族会を考えて欲しい。
- ・ ほのぼの苑は行事が多いので、ご家族が参加する行事の日に短時間でも良いので話し合いの場を作る。
- ・ 職員と話しをしたい。雑談をして、職員から家族へ、家族から職員へと双方の意見交換をしたい。



幸福

自分自身しみじみと幸せについて考えたことはなかったように思う。幸せになりたいとか、自分には不幸なのかもと考えてこなかったように思う。

自分にとって「幸せ」とは一体なんだろうか？

最近、テレビでは家庭内の悲惨な殺人事件、飲酒運転による交通事故、子供たちのいじめ問題、そして介護者が介護に疲れての事件が起こっているが、とりわけこの介護の問題については、身に押し寄せるものがある。自分自身にも差し迫っていることであり、また介護の現場に携わっていることから、他人事とは思えない。これらの事件、事故に巻き込まれた人達も幸せでありたいと願っていたに違いない。

それぞれが思い描く幸せの形は様々であろう。

さて、それでは、自分にとってはどうだろうか？家庭があり、幸せの場があり、そして何とか健康に毎日過ごすことが出来ている。「日々何も無い」ことが一番の幸せではないだろうか。一日忙しく動き回り、夜布団に入る瞬間のなんと幸せなことであろうか、これからもこのささやかな幸せが続くことを願っている。

ほのぼの掲示板

インフルエンザ、感染症流行の時期となつております。入苑者への感染防止のため、風邪、発熱、嘔吐の症状のある方は面会をご遠慮下さいませようご協力お願い致します。また、症状のない方も予防として、手指消毒にご協力お願い致します。

ポツリと一言

この原稿を書いている今も雪は積もる気配もなく、ただうっすらと道路を白く染め上げていただけです。各地の冬祭りにも影響があるらしく、雪に一喜一憂する姿が見られます。ほのぼの苑でもこの時期になるとかまくらを作ったり、雪だるまを作ったりと雪祭りを行っていましたが、どうやら今年は出来そうにないようです。(九)

発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央